

おはようございます。

今日 3月11日は、東日本大震災が起った日です。大震災から13年の月日が経ちました。今日は、テレビでも、新聞でも、関係したニュースや記事がでていますね。私たち、こうした大きな災害から身を守る、命を守るために、どうしたらいいのでしょうか。

今年1月1日の能登半島地震でも、多くの町で、自宅が壊れたり水道や電気、ガスが使えないため、自分の家に住み続けることができず、別の町の家や避難所で生活しているなど、今でもニュースになっています。まだ町の9割、ほとんどの家で水道から水が出ない、そんな地域もあります。

学校はまた始まっているけれど、遠くて毎日通えない子は、オンラインで勉強している、そういう子供たちもたくさんいるそうです。

自然が引き起こす地震や津波、土砂崩れなど、私たちは完全に予測したり、被害を避けたりすることは難しいですね。でも、その被害を小さくしたり、たとえ被害に遭っても、それを乗り切ったりするために、日頃から準備をしておくことはできるはずです。

岩小のまわりでは、荒川の水害が一番心配ですが、5年生が総合の時間にいろいろと調べてくれていて、その貴重な情報は、きっとこれから皆さんにも届くはずです。

私たちのふるさと岩淵町や志茂は、荒川のあるお陰で、素敵な水辺があり、自然豊かでたくさんの草花が育ち、クロベンケイガニや昆虫などの生き物、鳥たちがいます。河川敷で野球やサッカー、サイクリング、それからバーベキューも楽しめますね。

いいこともたくさんあります。

災害を必要以上に怖がる必要もありません。

ふるさと 荒川のいいところも、皆さんがあなたが一番よく知っていると思います。

その上で、水害のこともよく調べて、どうしたら被害を小さくできるのか、安全に避難できるのかということを、家族とはなしあっておくことが大事ですね。

昔から、災害は、忘れた頃にやってくる と言います。

今日、3月11日には、万が一の災害のために準備している物が、足りているか確かめたり、避難するときはどこにいったらいいのか、など、思い出したりしておくといいと思います。

5年生のみなさんは、岩小の中では、その知識を一番詳しく持っているわけですから、岩小の子供たちの家族や地域の人たちが安全に避難できるように、皆さんがあなたが調べたことをしっかりと発信して行ってください。

お話を終わります。